

# 組み立て開始(そのVI)

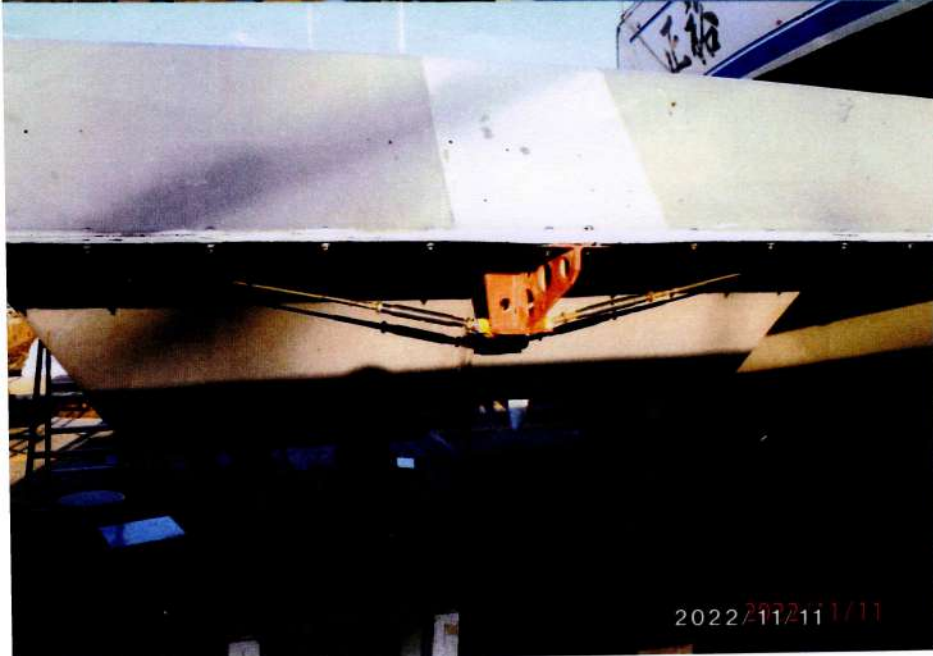
NO1

2022年の11月上旬は、記録的に雨が少なく、好天が続いて、外での作業は順調に進んでいます。と云いたいのですが、結果を急いで間違いをやらかし、気分を上向きにして、「昨日よりましな、今日が来る…」と祭天的に考えないと、船の自作などやってられない。頭の体操とか、ボケ防止とかの絶妙な効果は、目に見えないものですから、

本人しかわからないサブリントの様なものです。2011年の3/11の震災後、大洗マリーナのウッドデッキが撤去され、コンクリート(?)の茶色の舗装になった。説明会で個人の利益の為には、使用しないからと拳手して、払い下げてもらった。ガデン・テラスのバーベキュー用ベンチを自作して好評です。



銚子マリーナが震災後、再びオープンしたので、御祝いに、2.4mのベンチを5台、寄贈した。〈弥勒II〉でその後寄港したら、マスターが、車の便宜を計ってくれた。好意を受けたら、御礼をする心が誰でもあると思えるが、サービス業では心使いが大変でしょう。失敗は成功の基と楽天的に考えて、1/8(火)は予約した歯科へ出向き、その間々に20%の抗菌まな板の切断を



水の中の仕事でやってもらい、2人で、軽バツでマリーナへ。1/9(水)は、休んで、スーパー銭湯で、泡のハワーで腰の疲れを取り、楽になった。1/10(木)は、Yは午後4時から、用事があるので、別々の車でお出向した。O小学校へ寄って、大型の丸鋸を軽バツに積んで、マリーナへ出向き、Yの手を借りて、ベンチ用に高圧洗

浄した、払い下げ"てもらったウッドデッキの最後の材  
 木の近くに、運んだ。ジャラ(?)とか云う。チーク材より重い  
 油分の多い 腐食に強い材を、コックピットのベンチに張  
 り替えれば、最高の品になる。誰もチーク・デッキに憧れる  
 が、高いチークの替りに、ジャラを張ればと発想する人は  
 いなかった。TIKI-30の自作を始めて、コックピットは  
 チークの替りに ジャラを張ろうと、決心した。業務用の  
 抗菌まな板の根太の上に ジャラをタッピングビスで  
 取り付ければ、50年はOKでしょう。平成4年にマリナ  
 がオープンして、木材や石と密着していない場所  
 のジャラは何ともない。抗菌まな板の材料費と取付  
 ネジ費と、人件費がプラスされる。2003年<弥勒II>  
 が進化する頃、仲間の材木屋の片付けの話で、チーク材は  
 1m<sup>3</sup> 約100万円との事で、<弥勒II>用は安価にしても  
 らえた。ウッドショックの昨今、現在の価格は知らない。  
 長さ3.4m弱、幅50cm強のチークのコックピットは、岡  
 崎造船でやってもらったら、車一台分位かかるかも知  
 れない。それを払い下げ"てもらった無料の木材

と、¥5,720円のステン  
 ネジ代だけで、人件費  
 は別ですか。超安価に  
 出来るのが、自作の強みと  
 思えます。何故誰もやら  
 ないのか不思議でしょ  
 うがない。元チークデッキ  
 の船が、衰れな姿を晒

領 収 証

No.

伊藤 様

〒310-0845 茨城県水戸市南町4-7  
 株式会社 伊藤 様  
 電話 029-246-8989  
 FAX 029-246-8989

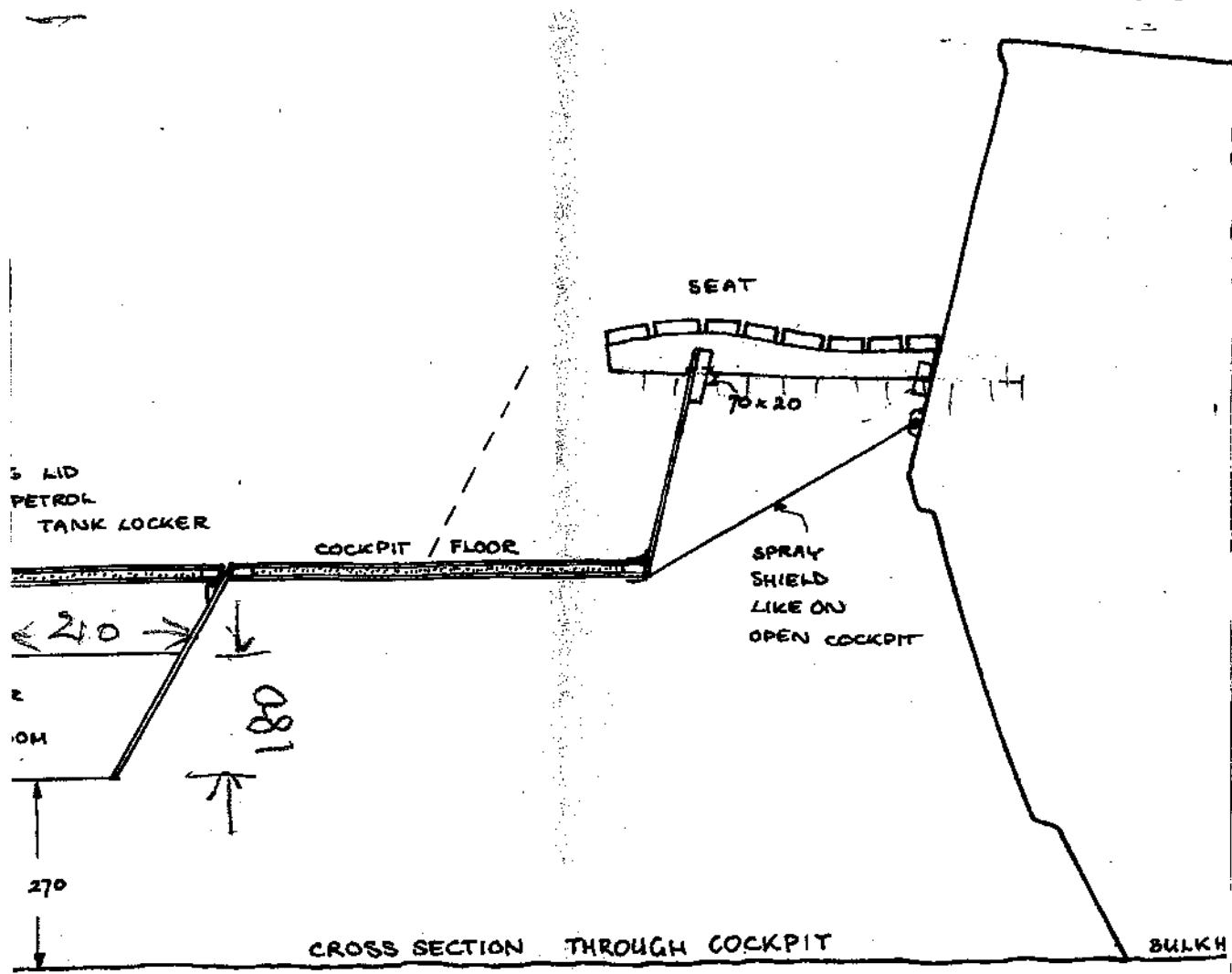
04年11月10日

下記のとおり領収いたしました

合計金額 ¥5,720-

| 月日 | 品名                   | 数量  | 単価 | 金 | 額    |
|----|----------------------|-----|----|---|------|
|    | SUS 539x25<br>114x25 | 100 | ?  |   | 200  |
|    | SUS 114x30           | 410 | 11 |   | 4410 |
|    | 消費税                  |     |    |   | 520  |

しているのを、見るのは忍びない。3年ぶりの大洗の花火の前、<弥勒II>のゴックロットのチーク磨きを3人で行った。皆と車でドライブするのには、ワックスを掛けて、オイル交換をしてドライブするのと同じと思える。何も知らないオーナーが、何も知らない作業員が、ディスクサンダーでチークデッキを研磨しているのを見て驚いた。ある53才の船長のチーク・デッキの手入しれを頼まれて作業をした事があった。仕事を始める前に工賃の見積りを話し、作業終了後請求書を出したら35%値切られた。65点は合格点と思えるので、それ以来そのオーナーの船の仕事を止めにした。チーク・デッキはオビタルサンダーで出来るだけ細い粒子のペーパーで、ていねいに研磨しないと、作った人に申し訳ない。地球の遺産の銘木であるチークを愛船のデッキに取り付けたら、長く維持して、多くの人に銘木を愛でる様に、楽しんでもらいたい。戦後、何も無い偕楽園で、チャンバラ遊びもして育った。自動販売機は無くても、こんこんと湧き出ている吐玉泉の水を飲んで遊び続けた。光園公が植えさせた、矢竹が、我々のポケットに入れて持ち歩いていた。肥後の守(折りたたみナイフ)で切るのに、丁度良い太さでした。「御前達だな……、何時も竹を切って遊んでいるのは……」と管理人に言われて、皆と逃げ出した事もあった。偕楽園を有料化して、偕楽園は偕楽ではなくなり、世の中、だんだんあかした方向に進み、鉛筆も削れない子供が巷にあふれる様になった。肥後の守があれば、竹トンボも杉テッポウも作れるのに、今では、それはオジイキヤンの裏術になってしまった。



英国から送られて来た、コックピットの断面図を上にのりつけします。縮尺は1/10です。Yが60cmの型を断面から読み取るのに、補助線が細かく引いてあるので、記念になる。上の断面では、8枚のチーク板でベンチが作られています。ジャラのリサイクル材のベンチはもっと細い板を張りつけする様になる。

1/10(木)の時過ぎに、隣の工本所の機械を御借して、ジャラ材の木取りを行った。又コックピットの前後を支える、フロントとリアのクロスビームとの間のスペースを埋める。30mm x 40mmのジャラのスポーサーも作った。

トラックを借りたり、機械を借り<sup>たり</sup>したら、必ず御礼をして、次の時に継いでいる。礼儀だけは、失いたくないものです。

11/11(金)も好天で、仕事をするのがイヤになる。ゴックピットを左右中央で合せる様に2分割で製作したが、少人数で作業しているので、中央の接合面が1cm弱のスキ間が出た。右側(西側)のベンチシートとリア部の接合部のネジをすべてゆるめて取り去る。南側と北側の受けのネジもゆるめて取り去った。ゴックピットのフロア部をジャッキで落ちないように支持して、右側のゴックピット全体が、自由に動ける様にした。中央の合せ目を、後側から6本のネジで様子を見ながら、交互に締めゆるめるがコツです。一方づいて締めゆるめると、6本ボルトはネジ切れてしまうので、要注意です。1/6(日)のレースで3位になったくM)のK氏が見学に来場した。メインクロスビームのマストの真下のドリフィン・ストライカーを取りらまけている時でした。K氏は30ftの前はJ-24に乗って、小名浜レースに出た事もあり、J-24の船外機は8HPだったとの事です。J-24より軽量のTKI-30ですから、9.9HPでも充分と思われれます。メインクロスビームとアフトクロスビームのスポーサーの30%厚のシヤウ材もひたたり納り、ひと安心する。隣の木工所の機械で木取ったベンチシート用の木材を、Yと2人でゴックピットに上げて、抗菌まな板の曲面に並べてみる。4%位の間隔を空けて並べるのが宜しいかと思えます...!!

R  
4  
11/11  
伊藤